

2023年(令和5年)12月14日(木曜日)



アイエスエフネット

シンガポールにビジネス拠点 ITインフラ人材の紹介事業など加速

ITインフラサービスを手掛けるアイエスエフネット(東京都港区)は、アジア地域でビジネスを拡大するため、シンガポールに新会社を設立したと発表した。これを弾みにITインフラを支えるエンジニアの紹介事業などを加速。IT水準が高いデジタル先進国の同国を拠点に現地の人材だけでなく、日本や韓国の優秀なエンジニアにも活躍の場を提供。グローバルスタンダード(国際標準)のスキルを身に付ける育成の機会も用意する。



シンガポールの新会社設立に
関する記者会見に臨むアイエ
スエフネットの渡邊代表取締
役(手前)

同国では、IT人材「ド」「ネットワーク」が不足する問題が深刻。「セキュリティ」と中でも「クラウド」いう三つの分野を担う人材を求め、日系企業などが増えている。

今回設立した新会社「GLOBALIS E」はこうしたニーズを踏まえ、日本語と英語ができるバイリンガルエンジニアを採用し、日本や韓国のプロジェクトなどで活躍する機会を提供。採用人数を2030年までに150人規模に増やす目標も掲げた。

新会社では、現地の優れたエンジニアや海外でより高度なIT技術を取得したいと考え、顧客の人材と連携し、顧客のプロジェクトを成功に導きたい考えだ。

現地とオンラインで7日に開いた記者会見で、アイエスエフネットは創業から20年以上にわたり、1000社を超える企業に対してITインフラサービスを提供してきた。日本全

国には15カ所の拠点を展開。海外展開では、シンガポールへの進出で3カ国・4拠点の体制が整うことになる。さらにITインフラエンジニアの育成にも注力。独自の教育制度を確立し、これまでに3000人以上の未経験者を採用し育てた実績も持つ。

渡邊代表取締役は「これからも一層の成長と発展に向けて地道な努力と革新を重ね、国際的な舞台での存在感を高めたい」と強調。30年には売上高の約4割を海外事業が占めるとの見通しを示した。